

令和元年度水俣市市政報告会

来場者からの質問・意見等

令和2年3月31日作成

開催日時：令和元年 9 月 26 日（木） 19：00～20：25

会場：湯の鶴温泉センター

質問	喜久屋の横を公園にしたが、維持管理はどうなっているのか？
市長	<p>地元の方にご協力いただきたいが、詳細については、今後詰めさせていただきます。</p> <p>【経済観光課より】</p> <p>令和元年度に整備した喜久屋横の公園である「湯の鶴温泉憩いの広場」については、現在は水俣市の管理としている。</p> <p>今後の利活用及び維持管理については、地元自治会である 15 区自治会と協議検討の上決定したい。</p> <p>なお、「憩いの広場」の維持管理等を定めた「湯の鶴温泉憩いの広場の設置等に関する条例」を制定しており、広場を利用する場合は原則申請不要かつ使用料無料としているものの、次に掲げる場合は事前に市の許可及び使用料が必要となる（同条例第 4 条の規定に基づく）。</p> <ol style="list-style-type: none">（1）募金、署名運動その他これらに類する行為をすること（2）業として写真または映画を撮影すること（3）競技会、展示会、集会その他これらに類する催しのために広場の全部又は一部を独占して利用すること
質問	湯出小を小規模特認校として指定できないのか？
市長	地域の意向や学校の運営方針に基づき定められるものと考えている。
質問	小規模特認校へ通う場合に、スクールバスは出るのか？
市長	保護者の方々に送迎していただくこととなる。
質問	高齢者福祉の施策が薄かった。高齢者への支援は？
市長	今後、みなくるバスの無料化など高齢者の福祉の充実について検討していかなくてはならないと考える。地域のコミュニティで支えあう環境づくりも大切であり、自助・共助・公助という考え方の中で、やはり共助の部分をしっかりさせないとならない。それに行政がどう関わっているのか考えていかなくてはならない。今まで、若い子育て世代に対する支援というものをやってきたが、今後は高齢者支援も取り組んでいかなくてはならないと考えている。

質問	<p>厳しい社会情勢の中で、生き抜いていくには、水俣は環境産業を起こしていく必要があると思う。水俣は環境といっても、遅れていると感じる。</p>
市長	<p>環境モデル都市と言いながら、ごみの分別などに視察に来ていただいているが、よその自治体は、その先を行っている。高齢化社会の中で、分別の数を増やせば、市民の負担はさらに大きくなる。これは課題である。環境関連の企業も誘致していかなければならないと考える。</p> <p>サンエレの問題もご存じの通り 114 名近くの人が職を失う。経営者としては苦渋の決断だったと思う。その中でも、行政としてどのような対応をしなければならないのか。プレス発表があった翌日に、我々も支援本部を設置し、従業員の皆さんが少しでも水俣に残ってもらえるよう、市の制度を紹介するなどの総合相談窓口を設置した。</p> <p>幸い地元企業の方々からも、働き手が欲しいという声もいただいている。ただ、従業員の皆様の気持ちもあるので、行政として何ができるのか考え、検討している。</p> <p>そのような中で、やはり環境関連の企業の誘致というのも大切だが、環境というものに縛られず、来ていただける企業には、積極的に働きかける。</p>
質問	<p>湯の鶴に対しての施策が薄いと感じるが？</p>
市長	<p>湯の児ばかり PR しているように言われてしまうが、しっかりと湯の鶴も PR している。湯の鶴にも資源はたくさんあると思っている。</p> <p>竹あかりもやっぺいらっしゃるが、来るときも道路沿いが暗いと感じたので、地域のご意見をいただきながら、こちらからも施策を提案していきたい。景観を利用して、地域の皆さんと風情のある湯の鶴にしていきたい。</p>

開催日時：令和元年 9 月 27 日（金）19：00～20：15

会場：水俣第二小学校多目的ホール

質問	資源ごみの工具箱。前市長の時から言っているが、どうにか市のほうから配布できないか。現在そのまま。ビニールシートも乾かすのが大変。市から配給してもらえるようお願いしたい。
市長	<p>ブルーシートは回収するようになっていなかったか。御高齢の方には大変負担になる。今、市のほうでも検討しているので、早い時期に結論を出したい。</p> <p>【環境クリーンセンターより】</p> <p>自治会長会及びリサイクル推進委員会でもご意見をいただき、ごく一部の地区で「以前のように回収してほしい」との意見が出たものの、それ以外の地区では「地域の中でうまく工夫して対処している」、「地域での管理で問題はない」との意見があった。</p> <p>このため、地域で管理する従来の方法は変更せず、問題のある地区については、個別にご相談いただき、対応を共に検討することとした。</p> <p>問題のあった地区では改めて地域の中で話し合いを行い、対応できるようになったとの報告あり。</p>
質問	水俣はもやい直しということで進めてきているが、なかなかうまくいかない。このことを考えていただきながら水俣づくりを進めてもらえば、きっと実現できると思う。慰霊式や火のまつりなど引き続き開催できる環境を作っていただきたい。
市長	<p>本日、沖縄の経済同友会の方々が、環境関連の研修ということで環境モデル都市としての水俣を勉強しに来られた。我々も水俣病の教訓を根底に据えながら、次世代の子どもたちが誇りと自信をもって育っていけるような水俣にしなければならないと考える。</p> <p>協力すべき時にはしっかりと皆が協力し、この水俣の地域をつくっていかなければならないと考えているので、いただいた御意見を受け止め、市政運営をしていきたい。</p>

開催日時：令和元年 9 月 30 日（金）19：00～20：20

会場：もやい館 3 階ホール

質問	市の職員が毎日遅くまで仕事をしているが、メンタルや体調のケアはどのようにしているのか。
市長	できれば全職員定時で終わってほしいが、イベントや行事等が入ると、どうしてもその期間は集中してやらなければならない。しかし、継続中の事業の見直しや積み残しの見直しなどを行って無駄なものをそぎ落としていくことが必要と考える。 メンタルのケアについては、管理職の方々に部下の状態を把握するよう指示している。
副市長	毎月、衛生委員会を開いて意見交換をしている。今後、メンタルヘルスの研修やストレスチェックを予定している。
質問	もやい直しについて市長はどう思っているか。具体的にどう取り組んでいくのか。
市長	もやい直しとは、自分の立場やいろんなものを乗り越えて、水俣を良くするために、どうしたらいいか市民全員が真剣に取り組むことだと考える。そのため、市民の皆様の心の問題、考え方の問題、気持ちの問題が大事になってくると考える。 もやい直しに対する気持ちを調整するためにも行政としていろんなところで発信していかなければならない。水俣のためにすべての人が真剣に取り組めるような下地作りや雰囲気づくりをしていきたいと考える。
質問	水俣の子どもたちが遊ぶ場が少なくなっているなか、恋路島やグリーンスポーツなど自然を生かした施設はどうなっていくのか。
市長	恋路島については検討委員会で現状維持という結論が出た。活用方法はないか今後検討していく必要がある。グリーンスポーツについては利用したいという声をいただいているが、老朽化により整備等も必要になっている。今後、整備や活用方法については検討していく。

開催日時：令和元年 10 月 1 日（火） 19：00～20：30

会場：葛彩館

質問	消防団員はほとんど日中いない。日中火事になった場合、消防車両を動かせる人間がいない。初期消火を行ううえで、消防団員以外で動かせる人間が必要だと思うが。
市長	山間部は市内に仕事に出る人が多い。OBの方を活用するのかどうか。仕事をしていて、有事であっても抜けづらい状況。企業の皆様にも、火災の際には、配慮いただくよう投げかけていくことが必要。 消防団以外の方が消防車両を運転することは、保険の関係で事故が起こった場合、保証を受けられない等の問題になるため現実的に難しいと思うが、そういったことも考えていかななくてはならない。
質問	消防団 OB が消防車を運転する方法は？
市長	そのようなことが可能であるのか不明なため、他の自治体を調べてみたいと思う。 【危機管理防災課より】 火災発生時等に消防団 OB が消防車を運転するためには、市町村が導入する機能別消防団員制度により、入団していることを要する。 本市は、通常の消防団員の入団に注力し、現在制度導入の予定は無し。 ※機能別消防団員制度とは 従来の消防団員と同様の活動ができない人が、それぞれの能力や事情に応じ、入団時に定めた特定の活動・役割のみに参加する制度。 県内における機能別消防団員制度の導入状況 八代市、人吉市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、天草市、宇土市

質問	サンエレが閉鎖する。水俣市はどのような対応をしたのか。
市長	<p>8月8日に会社から発表があり、その日に JNC から報告があった。翌9日に JNC を訪問し本部長とお会いして直接話を伺った。経営者は好んで会社を潰したいと思っていない。閉鎖までの過程は、様々な議論があって、そこに至ったと聞いた。苦渋の決断だったと聞いている。そうならないように行政がすべきではなかったのかという声もあるが、やはり会社の経営のことで、我々がどこまで踏み込めるのかというのはわからない。</p> <p>行政としてやらなければならないのは、苦渋の決断を下した会社の社員を、水俣市としてサポートすることである。</p> <p>プレス発表後、すぐ対策本部の立ち上げを行い、今現在市としてできる制度を洗い出し、それをもって総合相談窓口を設置している。</p> <p>現在行政ができること、この先行政がすべきことをサンエレの皆さんに提示していく。</p> <p>従業員の方が最低限この水俣で生活することができるようにしなければならない。水俣から通える範囲での再就職というものにも取り組んでいるし、幸いなことに、市内企業のいくつかからは雇用したいという声ももらっている。</p> <p>しかしこれは、社員の皆様の気持ちが一番。従業員と家族の皆さんが水俣で暮らしていけるようしっかりやっていかなければならないと考えている。</p>
質問	サンエレへの発注はまだあっている。市長として、残してくれという要望をするべきでは。八代では、実際首長が本社まで行ってそういうことをしている。
市長	<p>会社を残すことによって、黒字経営になる保証があるのであれば、我々も支援しなければならない。会社として簡単に決断したのではないと聞いている。申し入れをする方法もあるかもしれないが、従業員が困らないように、次の手を打つことが我々には必要だと考える。いろんな考えを持つ方がいらっしゃると思うが、私は最善の方法をとっていると考えている。</p>
質問	湯の児に泊まっている客から、水俣にはどこに観光地があるのかと言われた。中尾山を紹介したが、紹介する場所がない。
市長	<p>水俣に来ていただいた方に、市民の方からも発信してもらうことが大切だと考えるが、発信するためのいろんな資源の活用が不足していると自覚している。外部の方からもご意見いただきながら、資源を磨き上げ、活用していきたい。</p>

開催日時：令和元年 10 月 4 日（金） 19：00～20：30

会場：愛林館

質問	今年から久木野小が小規模特認校になり、生徒募集をしたが応募は 0 名だった。なぜ 0 名だったのか、原因を調査してほしい。学校への送迎があれば、子どもを通わせたいという保護者の話を聞いた。
市長	小規模特認校制度を活用して入学するには一定の要件を設けている。今回は保護者の送迎を要件として挙げているが、送迎が必要など実際の保護者の声や実績等を踏まえながら検討したい。行政としてもできることは協力していきたい。

開催日時：令和元年 10 月 7 日（月） 19：00～20：30

場所：越小場公民館

質問	大きな補助金だけでなく、きめ細やかな支援もされているなという印象。小規模特認校をやっていただいて感謝している。市内からの送迎があれば制度活用が促進されるのではないか。
市長	小規模特認校については地域の皆さんが一生懸命やっていただいて、実現したものである。送迎については原則保護者の方の送り迎えが可能な方という条件はどうしても出てきてしまうので、ご理解いただきたい。久木野校区は素晴らしい場所。水俣市外からも受け入れることも考えて行っていいのかなと考える。
質問	私が最高齢。85 歳になる。いい報告会だった。 市役所の農林水産課によく行く。市役所は市民のためということを心得ていただきたい。
市長	これからも、市民の皆様にあえられる市役所を目指す。不快な思いをされることがあれば、すぐにご連絡いただければと思う。
質問	新しい市長になって水俣はどうか、と聞かれるが、今まであまり答えられなかった。本日、話を聞いて一端を知ることができて良かった。 水俣病の教訓について、水俣病という名称は差別用語だと思う。新しい水俣としてこの病名を使うべきではないと思っている。市長としてどう思われるか。
市長	水俣病の教訓やこれまで市民が築き上げてきたものも忘れてはいけない。これからの時代を担う子供たちに何を残すのかと考えたときに、やはり美しい自然環境と過去の教訓を残していく必要があると思っている。その中で、病名についての議論もあろうかと思うが、これは市民の皆様それぞれのお考えがあるということ。24,000 人の市民がいる中で、公の立場で私が、どうしたほうが良いと申し上げる立場にない。病名について、今の状況で、是非はない。市民全体で考えることだと思っている。